

あなたと青山学院



地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

今号の聖句

わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。

ヨハネによる福音書 第14章27節

Peace I leave with you; my peace I give to you.

30万人の卒業生と母校をつなぐ「絆」

2010. SUMMER **NO.2**

TOPICS

・山北宣久院長就任インタビュー **7月1日** (P2) ・第17回AOYAMA GREEN FESTIVAL 2010 **9月23日** (P8~9)

青山学院 第13代院長就任式が挙行されました

7月1日(木)13時より、青山学院講堂において、青山学院第13代院長となる山北宣久氏の院長就任式が挙行されました。

式典には、野本真也キリスト教学校教育同盟理事長(学校法人同志社理事長)をご来賓にお迎えし、ご祝辞をいただきました。会場には学院関係者、キリスト教学校教育同盟の方々、更新伝道会や山北院長の教会関係者の方々、卒業生等1,000名を超える方々をお迎えし盛大に行われました。

幼稚園から大学までの各学校の長が司式、聖書朗読、院長紹介などを務め、初等部聖歌隊による奉唱“Coming Home”、大学ハンドベル・クワイアによる奉鐘“The Gift of Love”が奏でられ、式典に彩を添えました。

就任の辞で、山北院長は聖書にでてくる数字や多くの御言葉を引用し、ユーモアを交えて挨拶し、「主イエスにあって互いに仕え合うことにおいて、私たちは一つになろうではありませんか。青山学院は、温かさや明るさを神の愛によって、苦難・艱難・困難を乗り越えていきましょう」と述べ、会場からは万雷の拍手が送られました。

歓迎の辞で、松澤建理事長は「青山学院はキリスト教信仰にもとづく建学の精神を具現化するために、ここにもっともふさわしい人物を院長に迎えることとなりました。きびしい経営環境の中でも、ゆるぎない建学の精神の堅持と学院の今後の一層の発展を期したいと存じます。」と述べました。

式終了後、会場をアイビーホールに移し、3会場に分かれて茶話会が行われ、半田正夫副院長(元院長代



歓迎の辞:松澤建理事長



就任の辞:山北宣久院長



祝辞:野本真也キリスト教学校教育同盟理事長

行)の挨拶、山北院長の就任挨拶の後、原進校友会会長より挨拶が述べられました。山北院長就任を祝い、多くの方々が式典から引き続いて出席し、山北院長をはじめとする学院および各学校の執行部と懇談

し、盛況のうちに終了いたしました。

なお、就任式前には、アイビーホールにおいて、松澤理事長、山北院長、山口雅司常務理事出席のもとで、就任記者会見が行われました。

青山学院院長就任にあたって

青山学院院長 山北 宣久

青山学院は136年の歴史を振り返る時、136年前に福音を携えて若干23歳の若さで来日したドーラ・E・スクーンメーカーをはじめ、幾多の宣教師の祈りと労苦の結晶を思わないわけにはいきません。

青山学院は主イエスが私たちに仕えて下さったゆえに、私たちも仕え合うことがいつも原点となってきました。身を低くして仕えていくこと、その実践として青山学院は存在してきましたし、これからもしていくことでしょう。「仕合わせ」とは仕え合うと書き読むのも故なきことではありません。主イエスにあって互いに仕え合うことにおいて、私たち青山学院にかかわるものすべてが一つになっていきたいと思ひます。

そして、青山学院はすべての教会と生命線を共有し、アメリカの合同メソジスト監督教会のこれまでのサポートに感謝し、より連携を深めて、宣教スピリットを生

かして伝道に励んでいきたいと思ひます。

このたび、院長に就任させていただきましたが、日本基督教団総会議長、日本宗教連盟と東京宗教連盟の理事長、日本キリスト教連合会の委員長をもう少しの間、担い続けて、青山学院の門戸の拡がりを念頭に関係を生かしていきたいと思ひます。また、35年間牧師として用いて下さっている、愛する聖ヶ丘教会に今しばし仕えさせていただきたくご寛恕願ひます。

私は、院長として委ねられた職務を本格的に担う日まで多くの人にお助けいただきつつ、わざにあたらせていただく所存です。

<J・ウェスレーの献身の祈り>をわが祈りとしたいと思ひます。

「主よ。あはれみて、しもべをみ栄えのために用い給え」と祈りつつ、院長就任の言葉といたします。



山北宣久(やまきた のぶひさ)院長プロフィール
1941年生まれ(69歳)。1963年3月立教大学文学部キリスト教学科卒業。1966年3月東京神学大学院修士課程修了。1977年1月より日本基督教団聖ヶ丘教会主任牧師となり現在に至る。2002年6月より東京神学大学評議員・理事、2002年10月より日本基督教団総会議長、2005年4月より日本キリスト教連合会委員長、2010年4月より日本宗教連盟理事長に就任し現在に至る。1988年～2010年東洋英和女学院短期大学、青山学院女子短期大学などで教鞭をとる。